

ている。

設置基準の周知を図ることは市民の理解を求めるうえで重要と考えているので、今後、制度の概要とともに設置の検討の際には、環境課まで相談していただきたい。

住み続けられる地域 づくりについて

問 橋上地域に生活する高校生など学生にとっては、スクールのバス的一般混乗しか通学の選択肢がない状況だ。定期券割引や学生割引等の措置がでないかを聞く。

答 スクールバスについては、教育委員会が運行しているものであり、ひとまとめに料金設定をしていくには無理があると考えている。

通学している子どもたちにもどのように補助していくのか、宿毛市としてしっかりと考えていきたいと思っている。

請願・陳情

皆さんから提出された請願・陳情は、所管の委員会に付託され、審査の結果、次のとおり決定しました。

番号	件名	議決結果
陳情 第2号	「国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書」採択のお願い	不採択
陳情 第3号	消費税減税、インボイス制度廃止を求める意見書提出のお願い	不採択

なお、委員長の審査報告は以下のとおりです。

陳情第2号について

本陳情は、国に対し、国民健康保険制度に係る国庫負担率を引き上げることや、未就学児均等割り保険料の減額措置を18歳までの子どもに拡大し、減額割合を5割から10割に拡充することを求める意見書の提出を求めるものであります。

陳情審査の過程で、委員からは「高すぎる保険料が家計を圧迫して多くの滞納者を作り出しているとの記載があるが、宿毛市においては収納率は97%前後で横這いであり、該当しない。」「組合健保や協会けんぽと比べて、同じ収入でも負担は2倍以上になっ

ているとの記載があるが、事実関係が確認できない。」「事実誤認の内容があるため採択すべきではない。」といった反対意見が出されました。

陳情者の意見陳述も踏まえ、慎重に審議し、採決した結果、全会一致で不採択とすべきものと決しました。

陳情第3号について

本陳情は、厳しい物価高騰が続く中、国民の生活は窮地に追い込まれ、くらしと営業、地域経済を守る上でもっとも有効な景気対策の一つである消費税減税とシステム導入・維持費などが、大きな負担となり、小規模事業者の経営を大きく圧迫しているインボイス制度の廃止を求める意見書の提出を求めるものであります。

す。

審査の過程で、委員から「消費税減税とインボイス制度廃止は国民生活と直結している問題課題であり、賛同できる。」との意見がある一方で、「財源について示されていないことや消費税減税とインボイス制度廃止については、関連性はあるが種類が違いため同じ意見書として提出することに對しては賛同するのは難しい。」との意見も出されました。

陳情者の意見陳述も踏まえ、慎重に審議し、採決した結果、可否同数となり、委員長採択で不採択すべきものと決しました。

表彰

全国市議会議長会及び四国市議会議長会より、次の方々に対し表彰状が授与されました。

全国市議会議長会

【一般表彰】

★議員10年以上

川田 栄子 議員
川村 三千代 議員

四国市議会議長会

【一般表彰】

★正副議長3年以上

川村 三千代 議員

